

2025年

2026年1月6日

北海道地方 12月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 低気圧の影響を受けやすく、降水量が多く、かなりの寡照。寒気の影響を受けにくく高温。 —

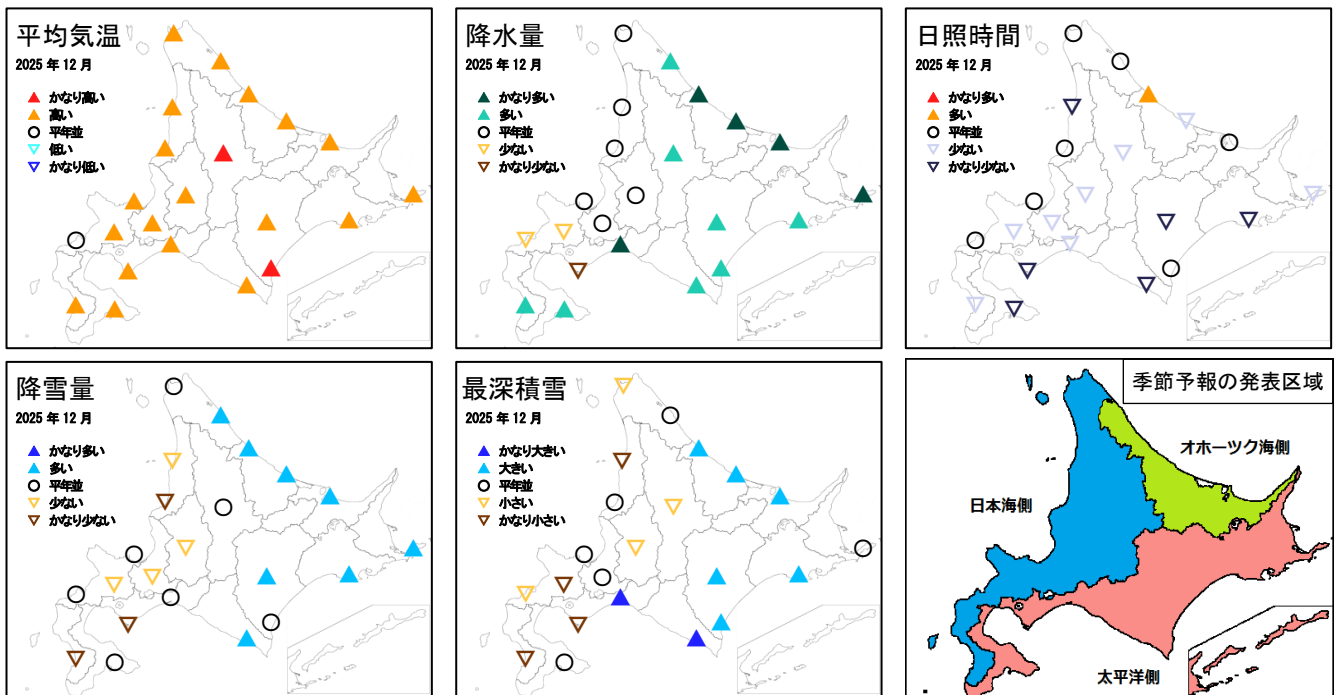
12月は、冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧の影響を受けやすかったため、北海道地方の日照時間はかなり少なかった。また北海道地方の降水量は多く、オホーツク海側と太平洋側の降雪量は多かった。特にオホーツク海側の月降水量の平年比は、1946年の統計開始以降、大きい方から第2位の記録となった。また、寒気の影響を受けにくく、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方の気温は高く、日本海側の降雪量は少なかった。

上旬：冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧に覆われて晴れた日もあった。このため北海道地方の日照時間は多かった。寒気の影響を受けにくかったため、気温は高かった。

中旬：北日本を通過した低気圧の影響を受けやすく、曇りや雪または雨となった日が多かった。14日から15日には、急速に発達した低気圧の影響で広い範囲で大荒れの天気となり、大雪となったところがあった。このため、降水量はオホーツク海側と太平洋側でかなり多く、降雪量はオホーツク海側で多く、太平洋側でかなり多かった。また、日照時間は太平洋側でかなり少なく、日本海側で少なかった。一方、低気圧通過後の冬型の気圧配置による寒気の影響が弱かったため、日本海側では気温は高く、降雪量は少なかった。

下旬：日本付近を通過した低気圧の影響を受けやすく、曇りや雪または雨となった日が多かった。このため北海道地方の日照時間はかなり少なく、オホーツク海側の降水量と降雪量はかなり多かった。冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだ日もあったため、北海道地方の気温は高く、日本海側の降雪量はかなり少なかった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	125	+	86	--	103	0
日本海側	+1.0	+	98	0	82	-	78	-
オホーツク海側	+1.0	+	172	++	99	0	129	+
太平洋側	+1.4	+	135	+	84	--	122	+

旬の統計値(地域平均)

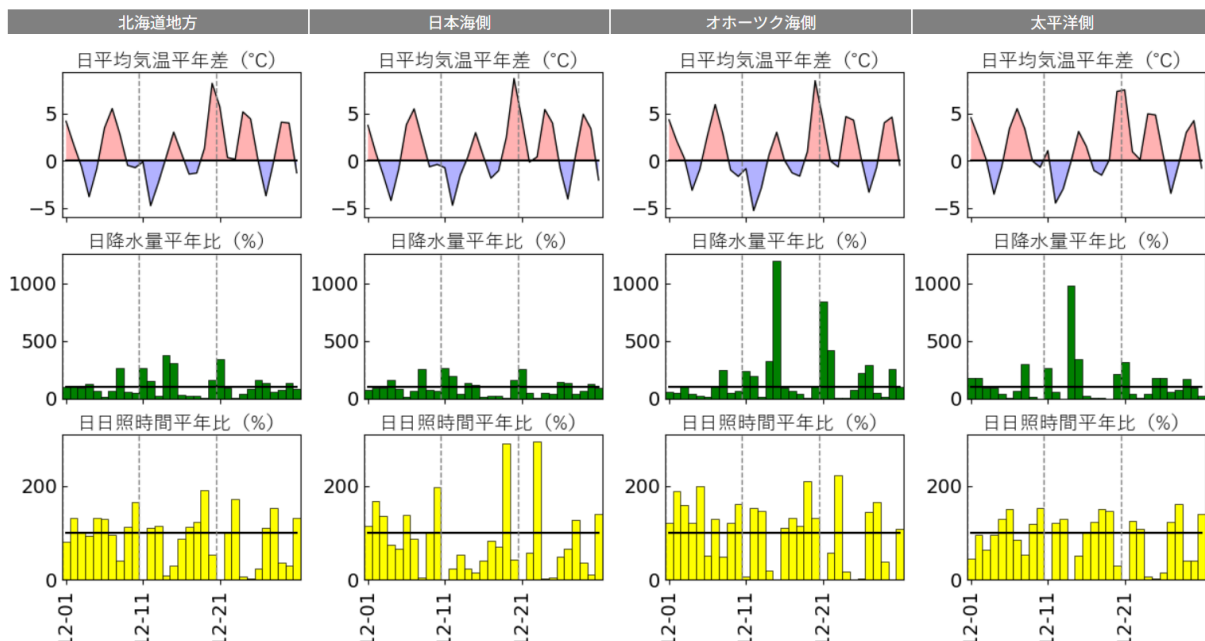
上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	94	0	109	+	88	0
日本海側	+0.9	+	100	0	108	+	94	0
オホーツク海側	+1.2	+	70	0	131	+	58	-
太平洋側	+1.5	+	98	0	99	0	95	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.6	0	172	++	78	-	131	+
日本海側	+0.7	+	97	0	66	-	80	-
オホーツク海側	+0.3	0	252	++	103	0	130	+
太平洋側	+0.5	0	226	++	81	--	195	++

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.7	+	121	+	71	--	93	0
日本海側	+1.5	+	98	0	72	-	66	--
オホーツク海側	+1.5	+	215	++	66	--	180	++
太平洋側	+2.0	++	102	0	71	--	83	0

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	-0.1	+0.8	+	110.5	97	0	74.8	90	-	99	113	-	48	47	0
稚内	-1.7	+0.4	+	108.0	96	0	24.4	86	0	94	122	0	22	39	-
北見枝幸	-2.3	+0.8	+	132.5	130	+	66.7	94	0	157	139	+	46	52	0
旭川	-2.1	+2.1	++	135.5	132	+	43.7	75	-	162	158	0	47	58	-
留萌	-0.4	+1.1	+	121.0	101	0	25.3	85	0	97	147	--	45	47	0
羽幌	-0.7	+1.0	+	140.0	93	0	16.8	52	--	120	154	-	29	54	--
岩見沢	-1.1	+1.5	+	114.5	79	0	53.7	78	-	152	200	-	54	74	-
倶知安	-1.9	+1.2	+	172.0	79	-	29.8	77	-	208	253	-	56	99	--
小樽	-0.5	+0.6	+	153.5	101	0	58.8	100	0	124	142	0	50	54	0
寿都	0.3	+0.6	0	115.5	83	-	24.9	94	0	98	108	0	18	32	-
網走	-1.3	+1.1	+	109.5	172	++	123.6	105	0	97	71	+	39	29	+
紋別	-1.6	+1.0	+	125.5	212	++	87.7	92	-	110	75	+	46	28	+
雄武	-2.2	+1.1	+	107.5	173	++	95.7	106	+	97	83	+	42	36	+
釧路	-0.3	+1.6	+	68.5	121	+	149.4	85	--	41	26	+	25	17	+
根室	0.8	+1.3	+	124.5	211	++	137.7	91	-	51	28	+	17	15	0
帯広	-2.6	+1.2	+	83.0	159	+	145.9	85	--	81	51	+	61	36	+
広尾	0.8	+2.1	++	100.5	110	+	143.0	96	0	59	60	0	51	35	+
室蘭	1.6	+1.1	+	29.0	44	--	53.1	75	--	6	27	--	2	9	--
苫小牧	-0.1	+1.1	+	92.0	163	++	112.2	88	-	35	29	0	32	14	++
浦河	1.4	+1.3	+	85.5	145	+	78.1	69	--	45	28	+	29	10	++
函館	1.1	+1.2	+	116.5	123	+	72.5	79	--	61	79	0	20	22	0
江差	2.6	+1.0	+	129.0	118	+	26.1	79	-	17	49	--	5	13	--

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
・「 ） 」付きの値は欠測を含む。「 ｝ 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
12月	月降水量(多い)	第2位	紋別	125.5 mm	212 %	153.0 mm (2012)	1956
	月最深積雪(大きい)	第3位	浦河	29 cm	290 %	33 cm (1927)	1927

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025